



平成22年11月8日

各位

上場会社名 日本橋梁株式会社
 代表者 代表取締役社長 松田 彰
 (コード番号 5912)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員企画管理本部長 坂下 清信
 (TEL 078-941-4027)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,200 | △75 | △95 | △80 | △6.55 |
| 今回発表予想(B) | 2,798 | 22 | 16 | 2 | 0.03 |
| 増減額(B-A) | △402 | 97 | 111 | 82 | |
| 増減率(%) | △12.6 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期) | 4,269 | 47 | 25 | 17 | △1.19 |

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 7,500 | 150 | 80 | 80 | 0.72 |
| 今回発表予想(B) | 5,500 | △220 | △250 | △270 | △2.88 |
| 増減額(B-A) | △2,000 | △370 | △330 | △350 | |
| 増減率(%) | △26.7 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 9,328 | 366 | 324 | 105 | 1.66 |

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

(1)第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間の業績予想における売上高は、受注獲得が当初予想を下回った影響や一部工事の進捗状況において当初予定に対し遅れが生じた影響等により前回予想を下回る見込みであります。一方利益面では、経費削減効果や既存工事のコスト削減活動の効果及び契約変更による増額活動効果等により、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに前回予想を上回る見込みであります。

(2)通期

通期の売上高は、受注獲得が当初予想を下回る見込みであることや一部工事の進捗状況において当初予定に対し遅れが生じる見込みである影響等により前回予想を下回る見込みであります。利益面においても、一層の経費削減努力や工事のコスト削減努力は継続するものの、受注の低迷により操業度が低下し、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を下回る見込みであります。

今後の対応

修正の理由で述べたとおり、受注の低迷による操業度の低下が当社の業績悪化に影響を与えております。この状況は、公共事業の市場規模縮小によるところであり、また今後、早急な回復は厳しい見込みであります。このため当社では、来期以降の黒字化へ向け、経営の合理化をはかり、受注量の減少に耐えうる体制の構築を進めております。合理化に伴い追加の損失が発生する見込みですが、合理化の内容および追加損失見込額が確定した段階で速やかに開示いたします。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配をお掛けいたしますが、何卒ご理解並びにご支援を賜りますようお願いいたします。

以上